

委員会活動報告

総務文教常任委員会

現地視察

テーマ 当別町内の各図書館（館）の状況について

○各図書館の利用状況 ○蔵書数 ○課題 など

平成 26 年 2 月 18 日



当別小学校図書室



北海道医療大学図書館



西当別コミュニティセンター図書室

主な質疑内容

平成 26 年第 1 回定例会関係（平成 26 年 3 月 5、10 日）

3 月 5 日

総務部関係

Q 基金の積み立ての総額はいくらか。

A 財政調整基金 5 億 7 千万円、減債基金は 8 億円ほど見込んでいる。

企画部関係

Q まちづくり基金寄附金の収入は、まちづくり基金積立金に毎年度積み立てているのか。

A 寄附金は、まず一般会計に収入し、その後、基金へ積立金として支出する。事業費として活用する分は、基金から繰入金として一般会計に収入する。

教育委員会関係

Q 諸車借上料の増額の内容は。

A 排雪にかかる重機の借上料で、小・中学校の卒業式前に駐車場の排雪を実施するため。

Q 就学援助費の減額理由は。

A 対象者の減と転出者が多かったため。

Q 教員住宅の貸付料が減っている理由は。

A 全 29 戸中、9 戸が空き家になったため。

Q 給食費自体の見直しは検討しているのか。

A 21 年度 4 月に初めて給食費が上がったときより、食材の値上がりが続いており、今後については検討したい。

3 月 10 日

総務部関係

Q 滞納対策で平成 26 年度から新たに徴収対策を講じるものはあるか。

A 25 年度からインターネット公売を利用して、滞納処分の強化に努めている。25 年度は 4 回実施し、それに伴う波及効果として、滞納繰越分の収納率が上がっており、引き続き 26 年度もインターネット公売を積極的に活用する。

企画部関係

Q 庁内 LAN 運用業務は本庁舎だけか。

A 本庁舎の他、ゆとろと総合体育館などの施設も含む。

Q 内容は。

A 通信ケーブルでのネットワーク化を図り、常に正常に稼働させ、障害発生時に迅速な復旧が求められる保守管理業務である。

Q 業者に委託して保守管理する回数は年間どれくらいか。

A 具体的な実績は押さえていないが、障害が発生したとき、早急に修理体制を取ってもらっている。

Q 過去に事例はあるのか。

A 保守管理は月 1 回にサーバーの中身を調査している。2 年に数回、サーバーが詰まり止まってしまうことがあり、職員で手に負えない場合は迅速に対応してもらっている。

Q 広報とうべつ発行業務の増加の理由と当江線バスの現状は。

A 広報とうべつの増額は紙資材類の高騰によるもの。

当江線バスは、運賃、補助金等で足りない分を江別市と当別町で補助金を交付することで継続していく。

Q 当別コミュニティバスについて、乗車率の悪いコースはどう対応するのか。既存のタクシー業者との関係は。

A 新年度は環境に優しい予約制のデマンドバスの試験運行を予定している。規定の路線に沿って運行するため、タクシーとの競合になるとは考えていない。

教育委員会関係

Q 白樺コミセンの耐震検査をやっているが、26 年度の具体的な対応はないのか。学校支援地域本部事業の内容は。当別総合型地域スポーツクラブ補助金の内容は。

A 白樺コミセンの耐震診断結果を受けて、建設課と協議をしながら予算措置していきたい。学校支援は、学校の教育活動を支援するために地域住民の学校支援ボランティアの活動による事業。総合型は体力や礼儀作法や知的能力を高めることを目的とする。

産業厚生常任委員会

現地視察

平成 26 年 2 月 5 日

テーマ 除排雪状況について

○幹線道路・生活道路・町営住宅の除排雪状況 ○雪堆積場の状況 など



東町団地



上当別雪堆積場



下川雪堆積場

主な質疑内容

平成 26 年第 1 回定例会関係 (平成 26 年 3 月 5、7 日)

3 月 5 日

建設水道部関係

Q 橋梁長寿命化修繕実施設計業務委託の 7 つの橋の名前は。

A 32 線橋、笹岡橋、幸橋、軌道橋、17 線南 5 号橋、南 5 号 34 線橋、北 16 号 42 線橋である。

Q 改修が必要となる基準はどんな状態か。

A 橋梁の橋台の部分が古く剥離し、鉄筋が見える状態など橋梁として危険性がある状態である。

Q 除雪について、除雪、排雪の状況を日報として押さえているのか。当初 3 週間で排雪が終わるとのことだったが、6 週間はかかっている。ダンプが平常より少なく、効率が悪いが、どう捉えているか。

A 体制の把握について、生活道路に入った段階で一覧表を作り、毎週月曜日から日曜までの実績を含め工程を確認する。ダンプの確保はもちろん作業効率の向上も含め受託業者と考えていきたい。

Q 町として具体的に乗り越える方法はないのか。

A 今年度の教訓として 1 1 月早めに降った雪の対応などの反省を踏まえ、新年度に向け、対応を組合と雪対協も含め協議していく。

Q 排雪の順番を毎年変えることはできないのか。

A 西側に面している地域は、西風により吹き溜まりが多くなるなど、現地の状況を見て判断するため、毎年同じような順番になる。

福祉部関係

Q 高齢者世帯等除雪サービス業務について、除雪の対象、除雪の内容、委託先は。

A 対象件数は 134 件。玄関先から公道までの通路を確保。原則 1 m 幅の除雪を行い、シルバー人材センターに委託している。

3 月 7 日

経済部関係

Q 農地情報公開システム整備事業はどのようなものか。

A 農地の所有者、面積、地目、賃借権の設定状況、農業者の状況などを管理する。航空写真、地番図、などの地図情報を重ねシステム化する。

Q 全国の自治体で整備するのか。委託先はどこか。管理はどこか。

A 法定化されるので、全国の農業委員会すべてがこの情報を管理する。委託先は入札。管理は農業委員会で行う。

Q 活性化センターについて、新年度の活動は今までとの違いはあるのか。

A 活性化センターの主な事業は、ブランドの創出ということで、ブランドの認証事業は 25、26 年と継続する。新規作物の導入事業で薬用植物の試験栽培を実施している。平成 25 年から試験的にグリーンツーリズムの取り組みも実施している。26 年度以降任意ではあるが農業者にも参加を呼びかけで、協議会を作りながら都市と農村の交流を行う。

Q 活性化センターのあり方について町長から検討という話があったが。

A 26 年度の事業の中身によって 27 年度について考えていくということである。

Q 活性化センターに対する町の補助金は何に対するものか。

A 事業に関し補助をしており、人件費、臨時職員などに支出しているわけではなく、ブランドの事業、薬草、グリーンツーリズムの 3 つの事業に対し支出している。

Q 当別の農業生産高は農協が大部分であるが、道の駅の中でどのように使い分けをするのか。町内の消費の議論はあったか。

A 今後農協と協議し、施設の中に加工を具体的に入れるとすれば例えば農協が出荷している小麦の何%くらい必要という具体的協議が必要となる。本州の視察では、平日の 5 日間は地元客に目を向けないと立ち行かないとのこ

とであったので、町内の方にも利用してもらえよう検討する。

Q 基本構想を作るにあたって、J A、商工会、町が集まって協議したのか。

A 町からは農業振興の部分で 6 次産業化をどうしていくのかということ、J A も加工の取り組みをしており、道の駅へ意識していこうという協議をしている。

Q 基本構想を作った委託先と違う業者になった場合、最初から実施するのか。

A 基本構想は資料以外は町職員で整理している。前は仮に設置する場合、現状の分析とイメージや規模などの客観的データ整理が業務であり、それをたたき台に町独自で作っているのと同じ業者でなければ支障が出るということではない。

Q 基本計画と基本設計は別々の委託か。

A 委託は 2 つに分け、基本計画の中で施設の機能が決まり、基本設計に入る。

Q 住民の意向、地域住民の参画などの声も基本計画に入れるのか。

A 道の駅プロジェクトチームということで、町の職員では持っていないノウハウなど知識を有する方にも協力をいただく。

Q 設置場所の車両の進入路は。

A 入るための左折レーン、右折レーンについて、4 車線化する際に配慮いただくよう開発局と協議している。

建設水道部関係

Q 下水道建設費の下水道施設更新実施設計業務委託の内容は。

A 公共下水道管渠布設工事、終末処理場更新工事を発注するための実施設計を発注する。

福祉部関係

Q 発達支援センターの向きについて、南向きになっており、東側には窓がないが考慮の上か。

A センター建設に際し、既存の建物を解体せずにできる位置を選定した。採光は天井に 2 ヶ所の窓と南側から明かりを採るようになっている。

議員出席状況

(平成 25 年 4 月～平成 26 年 3 月)

○印……出席 ×印……欠席 空白……該当なし

														常任委員会		特別委員会					各種委員会傍聴回数	議員協議会	会派代表者会議	議員会・森林議連関係	議会改革推進協議会・役員会	合計			
	6・11 第 3 回 定例会	6・14 第 4 回 臨時会	8・9 第 5 回 定例会	9・18	9・25	9・26	12・10 第 6 回 定例会	12・13	12・16	12・17	3・4 第 1 回 定例会	3・6	3・11	3・12	3・18	総務文教常任委員会	産業厚生常任委員会	議会運営委員会(改選前)	議会運営委員会(改選後)	議会広報特別委員会(改選前)							議会広報特別委員会(改選後)	H 24 年度決算審査特別委員会	H 26 年度予算審査特別委員会
宮司 正毅	○	○	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1				3				1	2	2	1	12		
渋谷 俊和	○	○	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1				3				1	2	2	1	12		
西村 良伸	-	-	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	9						3	3	6	7	2	3	47		
秋場 信一	-	-	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	9						3	3	4	7	2	3	45		
山田 明	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	10				3	17	3	3	5	9	4	3	73		
古谷 陽一	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○		12			3	13	3	2	4	8	4	3	67		
稲村 勝俊	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○		12	5	17			3	2	5	9	6	4	79		
石川 和栄	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	9					16	3	3		9	2	6	68		
白杵 英男	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○		12	4	17			3	3	5	9	19	7	110		
小早川 孝男	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	9				3	17	3	3	2	9	6	4	71		
神林 俊一	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	10		5	17	3		3	3	4	9	2	7	92		
岡野 喜代治	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○		11	5	17			3	3	7	9	19	9	113		
市川 正	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	10						3	3	3	9	6	5	55		
桐井 信征	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○		12	5	17			※①	3	6	9	17	7	107		
島田 裕司	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○		12	5				3	3	3	9	6	4	61		
竹田 和雄	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○		12		17			3	3	1	9	17	7	100		
柏樹 正	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○		12	5	17		17	3	2	8	8	5	6	113		
後藤 正洋	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	10		4	15			3	3	4	9	15	7	100		
高谷 茂	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	10	12	5	17			※②	※②		9	19	9	112		
合計	17	17	17	17	17	17	17	17	17	17	17	16	16	17	16	88	107	43	151	18	80	45	45	69	151	115	105	151	1439

平成 25 年 6 月 11 日に委員会構成の改選がありました。

宮司議員、渋谷議員が辞職し平成 25 年 7 月 28 日の補欠選挙で西村議員、秋場議員が当選しました。

※① 議会選出の監査委員のため、決算審査特別委員会には入っていません。

※② 議長は、予算・決算審査特別委員会には入っていません。